

兵庫医科大学病院のチーム医療

所属部署の
垣根を越えた

20の医療チームが さまざまな活動をしています



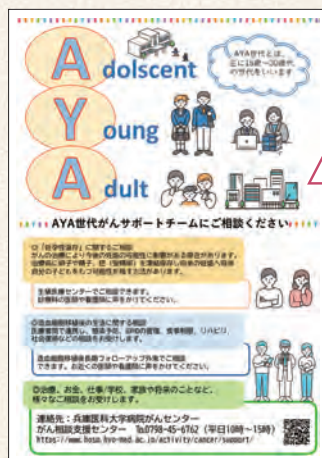
チーム医療とは、高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが互いに連携し合って医療を提供すること。兵庫医科大学病院には、専門職種のメンバーが所属部署を越えて集まる20のチームがあります。患者さんの状況に合わせて活動するこれらのチームをご紹介します(第6回)。

慢性的な痛み^{つう}に悩む患者さんをサポート

慢性疼痛集学的治療チーム

つらい痛みでお困りの方が少しでも楽に過ごせるように、さまざまな職種のスタッフが力を合わせてサポートします。痛みの原因や日々の暮らしに合わせて、患者さんに合った方法を一緒に考えていきます。

【構成メンバー】医師、看護師、理学療法士、公認心理師、作業療法士、管理栄養士



15～39歳のがん患者さんを支えます

AYA世代がんサポートチーム

AYA世代とはAdolescent & Young Adultの略で、思春期・若年成人の患者さん・ご家族を支えるチームです。妊孕性温存、造血細胞移植後の生活(感染予防やGVHDの管理、食事制限、リハビリ)、社会復帰に向けた治療、お金、仕事や学校、家族や将来のことなど、さまざまなご相談をお受けしています。

【構成メンバー】医師、看護師、ソーシャルワーカー

画像診断報告書や病理診断報告書の確認状況を監視

報告書確認サポートチーム

当院で行われるさまざまな検査に基づく画像診断や病理診断の報告書について、未読管理を行うチームです。2022年に結成されて以来現在に至るまで、毎月未読率を調査しており、報告結果が診療に適切に反映されるように努めています。

【構成メンバー】医師、診療放射線技師、臨床検査技師、医療情報学教員



兵庫医科大学病院では、ここで紹介するチームの活動以外にもチーム医療をますます推進し、患者さんにご家族のQOL(生活の質)を高める、安心・安全な医療を提供してまいります。